いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.２３１
令和８（２０２６）年３月１６日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦



教育委員リレーエッセイ

『　春の節目に思うこと　』

今金町教育委員　　水戸部　明子

春の訪れを感じる３月は、子どもたちにとって大きな節目の季節です。卒業を迎える児童生徒にとってはこれまでの学校生活を振り返り、新たな一歩を踏み出す時期となります。

また、在校生にとっても進級を前に、自分自身の成長を見つめ直す大切な時間です。学校では、日々の学びだけでなく、人との出会いや支え合いの中で多くの経験を積み重ねています。友達との関わりや先生方との交流、地域の方々とのつながりが、子どもたちの心を大きく育てています。こうした経験は、これからの人生を支える大切な財産となることでしょう。

卒業生の皆さんには、これまでの学びと経験に自信を持ち、それぞれの未来に向かって力強く歩んでほしいと願っています。また、在校生の皆さんも、新しい学年に向けて希望と目標を持ち、さらに充実した学校生活を送ってほしいと思います。

春は新しい出会いと可能性に満ちた季節です。

子どもたちが希望を胸に、次のステージへと羽ばたいていくことを心より願っています。



卒業式

さっきまでの感動が薄れないうちにと、この文章を書いています。

今金中学校の卒業式に行ってきました。

子どもたち、在校生・卒業生の凛とした姿、所作に感激。

全校合唱、卒業生記念合唱の美しいハーモニー、声量に感動。

子どもたちの心が解放されているから、合唱でも声が出るのです。先生方のそんな授業経営、学校経営に感謝です。

伝統的にご両親、保護者の出席が多いのが今金町ですが、改めて会場のあたたかい雰囲気に心が洗われる思いでした。

この子たちが大人になって、また今金町の土壌、風土を創っていってくれることに大きな期待を抱いて会場を後にしました。卒業おめでとうございました。

そしてありがとうございました。

やっぱり今金っていいです。学校っていいです。そう思う。

